

自立と共生！

たくましい日本！

No. 219号

民主党 中川正春の 永田町かわら版

2004年7月14日

〒100-8981 千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館 428号

TEL 03-3508-7128 FAX 03-3508-3428

<http://www.MASAHARU.GR.JP>E-mail g03063@shugiin.go.jp

○芝博一と民主党。

ご支援、ありがとうございました。

皆さん、本当にありがとうございました。「小泉さんはメッキがはげてきた。自公の与党体制も行き詰まり。ここで、民主党にチャンスを与えるから岡田体制で、しっかり挑戦してみなさい。」このことが、皆さんの期待なのだと思います。

芝さんもよく頑張りました。神主出身の議員は、民主党ではめずらしいことで、注目の存在になると思います。どんな参議院議員になっていくか、これからが楽しみです。

国会では当面、争点であった年金やイラクの自衛隊派遣について、与党をもう一度白紙撤回、見直しの議論にひっぱり込む事が、まず第一。次に、地方の経済基盤を再生するための政策や、少子化対策、教育の総合的な再生プラン、憲法や国際社会での日本の生き様の構築など、国家の基本に関する論議を具体的にまとめて国民が将来に自身と誇りを持って生きる道すじを示していけるかがかかっていると思っています。

「そうか。分かったから、今度は民主党で政権運営をやってみろ。」と国民から信任を得るまでには、私たちに、後、もう一步の努力がいるのだと思います。しっかり党をまとめていきます。

○拉致問題から人権外交へ

北朝鮮は、これからは正念場

北朝鮮からの脱北者を救援活動中に中国の南寧市で公安当局につかまり、拘束中の日本のNGO北朝鮮難民救援基金のメンバー野口孝行さんの裁判の結果が発表されました。懲役8ヶ月と罰金2万円。去年の12月につかまったことから、この判決どおりに刑に服しても8月には釈放されます。

野口さんを罪人扱いするのはとんでもない。」と、中国省政府や外務省、また共産党の外交部の担当に強く訴えてきました。しかし、今回の判決を見ると、中国はかたくなに、中国国内法に基づいて裁いたという事です。「不法入国者の幫助」という事を主張しています。

今回、野口さんが助けようとして、中国当局につかまった脱北者は、元在日コリアンです。日本の親戚に、助けを求めて電話があったと言います。強制送還されれば必ず北朝鮮国内では、拷問にあたり強制労働の対象となります。国際法では、彼らは当然難民認定されるべきものです。中国は、これを認めて中国国内で保護すれば、大量の難民が北朝鮮から押し寄せることにならないかと心配します。だからと言って、北朝鮮の国民が現実にはすさまじい人権蹂躪の渦中にあることを見過ごす訳にはいかないと、私は思っています。

私は、日本や韓国も含めて、この問題に関する解決の道すじを立てるための話し合いの場を作ることを提案しています。国連を何とか引っ張り出したいものです。日本の外務省も拉致問題だけに終わらせず、人権というより広い問題として北朝鮮と対峙すべきです。私は、日本にとって、金正日体制は平和を脅かす敵だが、北朝鮮の国民は、その異常な軍事政権の犠牲者なんだと思っています。日本の国民が、北朝鮮の国民に対してできることは沢山あり、そのことで、北朝鮮に内部からの民主化運動の芽が少しでも出てくることを目指す、幅のある外交戦略が必要なんだと思っています。

○臨時国会は7月30日に召集

国会が7月30日に召集されます。今日(14日)は、イラクの特別委員会の打ち合わせに、久し振りに東京に出てきました。選挙後の虚脱感みたいなものがあって、頭の回転に調子が出てきません。

私は、難民救援基金の皆さんの要望をうけて3月に南寧を訪れ、彼に直接会う努力をしましたが、中国当局に拒まれてしまいました。その時に、「彼らNGOの活動は純粋に人権尊重の立場から難民を救済する使命感に基づいてやっていることだから、

「早く床屋に行っておいでよ。テレビでみとったら、みっともないほど髪が伸びとったゾ。」お祝いの電話とともにこんなアドバイスもいただきました。